

市営バスの年末試行運行の検討について

現在、年末年始を運休日としている尾張旭市営バスについて、年末の試行運転の実施を検討します。

1 現状と背景

- ・ 12月29日から1月3日までの年末年始を運休日としている。
- ・ 年始に向けての準備として、年末に買い物に行きたいなどの需要が多くあるため、近年、年末年始の運行に対しての要望が増えてきている。
- ・ 近隣市町村等では、日進市・長久手市が29日～30日に運行しており、みよし市・豊田市・名古屋市営バス・名鉄バスが29日～3日に運行している。
- ・ 市営バスは、「市民の足」として、定着しているため、年末年始の運行について検討する必要がある。

2 運行日の検討

- ・ 普段の市営バス利用者の利用目的としては、病院への通院・商業施設への買い物が多く見受けられるが、年末年始は、病院は休業している所が多く、商業施設は、年始に営業していない所が見受けられる状況である。
- ・ 年末に運行している他市町村の運行実績を確認したところ、29日～31日の利用者平均は、12月の休日比90%程度の利用であった。
- ・ 29日～30日の2日間に絞って確認すると、12月の休日と比較し、利用者が多い日にちがあることも確認できた。
- ・ 年始の1日～3日については、初詣での利用等、利用目的が限定され、年末と比較すると利用実績は少なくなっている。
- ・ これらの状況を踏まえ、利用者がより確実に一定数見込まれる29日～30日に試行運転を実施することを検討する。

3 ダイヤの検討

年末の利用として想定される利用目的や尾張旭市内を運行している名鉄バス・名古屋市営バスの年末の運行ダイヤを鑑み、29日～30日の試行運転は休日ダイヤで実施するものとする。

4 周知方法

- ・ 各停留所に試行運転実施の掲示
- ・ バス車内モニターを活用した試行運転の周知
- ・ 市広報誌での周知